

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道4号 <small>おやまいしばし</small> 小山石橋バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 関東地方整備局
起終点 自： <small>いばらきけんゆうきしおだばやし</small> 茨城県結城市小田林 至： <small>とちぎけんかわちくんかみのかわまちしもがもう</small> 栃木県河内郡上三川町下蒲生	延長 16.3km	
事業概要 一般国道4号は、日本橋を起点とし、宇都宮、郡山、福島、仙台、盛岡を経て青森市に至る延長約850kmの主要幹線道路である。小山市周辺の一般国道4号は、沿道市街地の発達とともに交通量の増加等により、慢性的な渋滞が生じている。小山石橋バイパスは、一般国道4号の小山市、下野市の交通混雑緩和と地域活性化等を目的とした延長16.3kmのバイパス事業である。		
S47年度事業化	S44年度都市計画決定	S48年度用地着手
S49年度工事着手		
全体事業費	約467億円	事業進捗率 81%
計画交通量	65,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 7.4 (残事業) 7.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 131/132億円 事業費：71/72億円 維持管理費：60/60億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) 971/971億円 走行時間短縮便益：757/757億円 走行費用減少便益：170/170億円 交通事故減少便益：43/43億円	基準年 平成18年
感度分析の結果	交通量変動：B/C=8.1(交通量+10%) B/C=6.7(交通量-10%) 事業費変動：B/C=7.0(事業費+10%) B/C=7.8(事業費-10%)	
事業の効果等	・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する、他8項目に該当	
関係する地方公共団体等の意見	第二4号国道茨城県期成同盟会が全線6車線化を要望(要望活動1回/年) 第二4号国道古河・宇都宮間建設促進期成同盟会が整備促進及び立体化整備の推進を要望(要望活動1回/年)	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	北関東自動車道(都賀JCT~宇都宮上三川IC)が供用され、さらに、沿道に工業・流通団地、大規模ショッピングセンター等の立地により、交通量が大幅に増大し、幹線道路との交差点付近で新たな渋滞が発生している。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度までに、全線暫定4車線供用済み。用地取得100%済み。現在、新たな渋滞箇所への対策を実施中。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成20年前半までに、新たな渋滞箇所の事業を優先的に進める。北関東自動車道等周辺道路整備が進むことで、交通需要の増加が見込まれていることから、平成20年代後半までに6車線化を進める。	
施設の構造や工法の変更等	コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術・新工法を現地の状況を確認しながら積極的に活用し、コスト縮減に努めるとともに工期短縮を図っていく。	
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。